

音楽科学習指導案（例）

令和・年・月・日（・）第・校時
○○○学校・年・組・・名
指導者 ○○ ○○

1 題 材 名 ○○○○○○○○

2 題材の目標 ※①次の内容で書く。

- (1) (知識及び技能) に関する内容
- (2) (思考力、判断力、表現力等) に関する内容
- (3) (学びに向かう力、人間性等) に関する内容

※② (学びに向かう力、人間性等) に関する内容の最後は、題材後の児童（生徒）の姿を設定する。

※③語尾は「～身に付ける。」「～する。」と書く。(～できるとしない。)

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』を参考にする。

3 教 材

4 題材について

(1) 児童（生徒）の実態

(1) (2) (3) の項目ごとに分けずに、段落に分けて記述しても構わない。

(2) 教材について

(3) 指導に当たって

5 本題材で扱う学習指導要領の内容

※④学習指導要領の内容の部分を「一体的」に書く。

「一体的に」とは⇒ア（思考力・判断力・表現力等）、イ（知識）、ウ（技能）（鑑賞はア、イ）のそれぞれの指導事項（授業で扱うもの）を書く。単独では扱わない。

→題材の中では、共通事項に示す資質・能力と合わせて、必ずアイウの内容を関連させながら扱う。

※⑤『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』の「2 本題材で扱う学習指導要領の内容」のように記載する。（事例）小p. 65、中p. 61、高p. 53）

〔共通事項〕(1)

(本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「 」、 「 」)

6 題材の評価規準

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』を参考にする。

※⑨語尾は「～ている。」と書く。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※⑥知識と技能の内容を別に記載する。 《例》 知「知識」の内容で 技「技能」の内容で	※⑦授業で複数の分野・領域を扱う場合は（歌唱）（器楽）など、文末に（ ）を付けて記載し、区別する。 1領域・分野の場合は、記載しなくて構わない。	※⑧題材を通して、1つ設定する。

※⑩教材が単独の場合は「教材」の項目はなくてもよい。

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』を参考にする。

※⑫評価方法については、複数の評価で見取る。

- 8 本時の学習 ※⑬目標にそった内容での評価規準、手立てとすること。
(一体的に書く。目標、評価規準、手立ての内容がぶれないこと。)

(1) 目 標

※⑭語尾は「～する。」と書く。

(2) 展 開

学 習 活 動	○指導上の留意点	◇評価規準 ◆評価方法	要 素
1	○		
2	○		
※⑮児童(生徒) に向けての目標を書く。			
3	○	◇	
4	○	◆	
5	○	1人1台タブレット端末等をメインで活用した場面を太字で記入し、枠で囲む。 情報活用能力の評価規準は記入しない。	

(3) 評価及び指導(手だて)

<思考・判断・表現> ※⑯評価規準の項目が2つある場合は、それぞれの評価 規準について書く。

A(十分満足できる)と判断される具体的な状況	※⑰具体的に書く。 本時の目標(=B規準)に照合し、Aの児童生徒の具体的な姿の例を1～2例挙げる。
B(おおむね満足できる)状況を実現するための具体的な指導(手だて)	※⑱具体的に書く。 (例) ・どのように表現の工夫をしたいかということが明確になるように、活用カードを使って例示する。 ・他者の意見を踏まえながら自分なりの価値を見出せるように、自分の音楽の解釈に近い他者の意見をワークシートに記述させる。

一つの学習指導案の書き方例として、各学校の研究や部会等のテーマに沿って検討を加えながら、作成に御活用ください。